



あゆみ

1968~1997 (平成9年度)

創立三十周年記念誌

新川第四町内会

目 次

1. 第四町内会長挨拶	1
2. 祝 辞	
坂田好男新川連合町内会長	3
沢田宅次元第四町内会長	4
3. 第四町内会の素顔・第四町内会一円（航空写真）	5
4. 第四町内会功労者の紹介	7
5. 第四町内会30年のあゆみ	8
6. 北区長表彰受賞者名・歴代役員表	23
7. 回 想 録	
私が新川に来たころ	28
町内会ふんとう記	30
役員のおもひ出	36
8. 活躍中の「班長さんの声」	42
私と盆踊り	45

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 市 民 憲 章 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

わたしたちは、

時計台の鐘がなる札幌の市民です。

1 章 元気で はたらき、

豊かなまちにしましょう。

2 章 空も道路も草も木も

きれいなまちにしましょう。

3 章 きまりをよくまもり

住みよいまちにしましょう。

4 章 未来をつくる子どもの

しあわせなまちにしましょう。

5 章 世界とむすぶ高い

文化のまちにしましょう。



創立30周年記念

「30年のあゆみ」発刊にあたって

新川第四町内会会長 長澤 弘



私達の住む新川が、琴似に入植された屯田兵のうち、明治22年頃、西牧場に、最初に入植定住された、13世帯が今から溯ること1世紀余（109年）、先人たちは未踏の地、雑木林と湿地帯からなる原野に開墾の鋤を入れられ、厳しい自然環境の中、度重なる水害など、想像を絶する幾多の困難を乗り越えながら、この地を切り開き、新川に根をおろす礎を造ったと伝えられております。

新川第四町内会は、これらの先人が艱難辛苦の末築かれた、礎の基の根を下ろした事を忘れることが出来ません。

昭和43年、新川中央町内会の中に夫々集落毎に分区制が敷かれ、第5分区として組織的に町内会活動がスタートしました。

昭和45年に新川中央町内会、第五分区として町内会活動を行って居りましたが、各分区の独立により、現在の新川第四町内会として生まれ変わったものであります。

その後、急速な地域の発展と、生活環境も整備され当町内会も700戸を超える世帯数の増加に伴い、町内会運営をより円滑にするため、昭和57年、第四町内会と第八町内会に2分割し現在にいたっております。

顧りみて、今日の新川は、かつての畑地から住宅地に変わり、住宅の増加はもとより、道路の舗装化・上下水道の敷設など生活基盤の整備、小中学校の開校並びに児童会館の設置など文教施設の充実、さらに市内バス路線の増便・バイパス・高速道路の開通・学園都市線の高架化等交通網の整備など、全ての環境が整い目を見張るほどの変貌を遂げました。

当町内会、30年の足跡をたどり、初代 田尾梅一分区長、初代 遠藤恵治会長（故人）を初め歴代会長、各役員、会員各位の積み重ねた努力とご協力により、今日の第四町内会があります。

この「30年のあゆみ」に無量の感慨を覚えると共に歴代役員、会員の皆様に敬意を表し、衷心より感謝申し上げる次第であります。

この度の、創立30周年記念事業は、平成4年、第6代会長 山本定好氏（故人）の強い熱意により昭和43年を創立と位置づけ、平成9年度（会計年度内）に、記念事業を実施する計画で、平成4年度総会の決議を得て5年間事業資金の積立をして参りました。

この度、図らずも創立30年という大きな節目の年に、記念事業を実施する機会を得ましたことは誠に光栄であり、その責務の重大さを痛感する次第であります。

ここに先人の志を受け継ぎ、新川を愛し新川を「ふるさと」とする人々が築き上げた足跡を史実と伝聞を基に「30年のあゆみ」として、ささやかなりとも書き残し次世代に引き継ぐ事に意義あるものと信じます。

今後、当町内会が連帯感を深め心の触れ合いと、人情あふれる心豊かな町内会として発展して行く事を念じて居ります。

創立30周年記念事業実施に当り、協賛頂きました名士の方々と、本誌発刊にご協力頂きました内外の名士、諸先輩各位と町内会員諸氏に深甚なる感謝を申し上げ、「30年のあゆみ」発刊のご挨拶と致します。

創立30周年を迎えて

新川連合町内会会長 坂田好男



琴似に配置された屯田兵が、旧牧場に開拓地を給与されたのが明治8年（1875）以来数次にわたる給与地の追加を経て、琴似兵屋から通いながら未開の荒蕪地の開拓に挑戦すること14年、ようやくこの新川の地に同志13名をもって居を構えたのが明治22年（1889）と伝えられております。

それから星霜実に109年、新川は生々発展を続け、先人の志を継いだ住民のたゆまぬ努力が実って、今日の栄光を勝ち取りました。

西牧場と言われた原始の地に、血と汗の結晶としての今の「新川」を結実させた遠藤、土生のご両家と、その後入植した先人諸先輩の偉業に、唯々敬意と感謝を申し上げながら、その業績を長く後世に伝える決意を新たにす次第です。

長い開拓の歎音も、戦後昭和の札幌市の発展の足跡とともにその姿を変え、コミュニティ・タウンとしての新たな息吹を見せ始めた昭和35年から40年、増え始めた仲間交流の場として新川中央町内会が誕生、第5分区として活動しながら現「新川第四町内会」呱呱の声を挙げる端緒となったのが昭和43年（1968）でありました。

以来30年、歴代会長、役員各位が営々と自治活動に専念され、町内の和を図りながら社会資本の充実に努められ、ほぼその完成を見るに到り、ここに節目としての創立30周年記念事業を開催される運びとなりましたことは、同行の一人として誠に喜ばしく、心から祝意を申し上げる次第であります。

これからの町内自治活動は、インフラの完成の上に立って、心の豊かさを追求する段階に入ることを求められております。新川街区の発祥の拠点としての第四町内会の歴史を踏まえ、長澤会長様以下役員各位が、住民の総意を糾合して、新しい時代の創生発展への先頭に立たれて一層の成果を得られますことを期待申し上げ、記念すべき創立30周年を意義あるものとされますよう祈念いたします。

おめでとうございます。

祝 辞

新川第四町内会第3代会長 澤 田 宅 次



此の度、新川第四町内会が発足30周年を迎えられ誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

第四町内会の今日の発展は『住み良い街づくりと発展』を目標とされ、住民の強い町内愛と協力によるものであり、先輩の方々を始めとし今日までの役員並に会員皆様の努力の賜であると考えます。

ここに30周年を迎えられた皆様の喜びも格別の思いと拝察いたし改めてお祝い申し上げますと共に、その活躍と努力に敬意を表するものであります。

顧みるに微力な私が3代目会長として発足未だ日の浅い町内にあって、その礎の一端を役員の皆様始め会員皆様のご支援とご協力を頂き乍ら携る機会を得ました思い出は忘れることの出来ない、光栄なことであり当時を偲びここに深く感謝とお礼を申し上げる次第であります。

さて、21世紀も目前に迫り札幌市の更なる躍進が期待されるおり、貴町内会に於かれましても、此の30周年を契機とし皆様が尚一層町内の発展に寄与されますことをご期待申し上げ、併せて会員皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ措辞乍ら祝辞と致します。



第四町内会の素顔

私達の町内会は東に学園都市線を境に、西は北新川橋へ通ずる道まで、北は西牧場通りから南は西牧場公園北側通りに挟まれた、新川3条2丁目・同3丁目、新川4条2丁目・同3丁目であります。

この真四角に近い地域の中心に広大な敷地を占めて新川中央小学校・新川中学校が建ち、周辺が住宅地となっています。西側の住宅地の中に新川中央児童会館・札幌生協新川三条店が、そして、南側にフラワー・テニスコートがあります。当町内会は地域内の3分の1を公共施設や、これらの施設によって占められています。

町内会の会員は561世帯で、21班で構成していますが、南北を2分して2ブロック制となっています。高層マンションは北側にトーカンマンション(72世帯)、新川中央小学校の西隣にパシフィックマンション(125世帯)、その外一般マンション(賃貸住宅)が約30戸(140世帯)あり、個人住宅の少ないのが特徴です。

道路は、スクール・ゾーンでは10メートル幅で除雪も恵まれています。昭和30年代から宅地分譲された地域があり、そのため地域内には6メートル道路・8メートル道路があり、冬季間の除排雪を難しくしています。

かつては、町内会の南西の一角を横切る(西牧場公園から札幌生協新川三条店へ抜ける)形で「天然川」と呼ばれた小川が流れ、冬は天然のスケート場となり、子供等が遊んだとの事ですが、札幌市の膨脹に伴い塵芥等により埋め立てられ、畑地に変貌して美味しいスイカ・アジウリ等、野菜が良く採れたと言うことです。(辻静枝 談)

今では、畑地はほとんど無く、往時の梯はありません。朝早く、住民が眠りのさなか、学園都市線を回送列車が当別方面にゴーツと騒ぎ抜けてから、1日が始まります。札幌行きの1番列車が6時31分、未だ人の姿は疎らですが、間もなく通勤・通学のラッシュ時間帯になれば、新川駅を目指してサラリーマン・学生が徒歩で、或いは自転車で集まり、一方、小中学校を目指して歩く児童生徒で、道は賑やかになります。

そして新川中央小学校の始業を告げるチャイムがなり、教室からの授業中の声が聞こえ、校庭グラウンドで運動する子供達の伸び伸びした元気な姿が見られる頃、新川駅の駐輪場では空の自転車が溢れ、住宅街は静かな街に戻ります。

夕方、新川中央小学校の児童の帰宅を促すチャイムが鳴ります。この頃から、食事の支度・買い物する人々、そして帰宅する勤人・学生等で、街がざわついて来るような感じがします。そして札幌からの終列車が通る頃、街中はすっかり眠りについて居ます。

現在、学園都市線では高架複線工事が進められており、平成11年に完成する予定です。当町内会の東側地域との融合一体化、高架下の利活用が想定されており、今後、一層、変貌することと思います。



第四町内会功労者の紹介

第四町内会創立30周年記念式典に於いて、町内会活動に多大の功労がありました、次のお2人を表彰致しました。

遠藤 広氏(故)

ご尊父遠藤恵治氏的意思を継ぎ、町内会創設時から、防火防犯部長等を歴任し、昭和51年～56年まで副会長として、会長を補佐し、町内会の円滑な運営に寄与されました。昭和57年～59年まで4代目会長に就任され、第八町内会との2町内会分割を円滑に執行され、現第四町内会発展の基盤確立に多大の貢献をされました。

沢田 宅次氏

昭和49年～56年まで、2町内分割期までの7年の長きにわたり、3代目会長として就任されました。その間、当町内会は膨脹発展期にあっており、未整備であった悪路の解消に努め、また、上下水道の敷設を市当局に陳情するなどして、その実現を果たし、住み良い街作りに多大の功績を残されました。



第四町内会30年のあゆみ

第四町内会の成り立ち

昭和初期から昭和30年代前半まで、第四町内会一円は「西牧場部落会」の一部であり、西牧場部落会は現在の第一町内会から第八町内会・ポブラ町内会までの広い地域でした。住民は北海道開拓のため、入植された農家から形成されて来た集落です。

昭和36年に周辺地域の発展に伴い、西牧場部落会は「新川町内会」と改称、当時は何処までも続く畑地・牧草地で農家が点在し、手稲山始めこれに連なる連峰がくっきりと見え、春から秋にかけて地平線に落ちる美しい夕日を望むことができました。

昭和38年に電線が西牧場踏切を越え、札沼線西側の造成された宅地でも電気が利用できるようになり、この頃から住宅が建ちはじめ市街化が進みました。

市バス幌北線（現新琴似二条線の前身）が昭和39年12月に開通し第四町内会北部が一層開けました。

昭和40年、新川の名称は、公式の住所地「新川」との紛らわしさを避ける等の理由から「新川中央町内会」と再び改称しました。

昭和41年頃の新川中央町内会の状況は、会内を37班に分けて活動しており、現在の第四町内会の地域は27班の18戸と3班の6戸の計24戸でした。

昭和42年、新川中央町内会は急激な人口増のため「10分区」に編成して業務の推進を図ることとしました。「10分区」は、現在の各町内会の基礎となっています。

昭和43年（1968）～昭和44年（1969）

新川中央町内会の第5分区（現在の第8町内会を含む）及び第四分区の一部（現在の4条2丁目）は昭和41年頃の24世帯から、僅か2～3年で130世帯以上の急激な人口増となり、昭和43年に組織としての町内会活動がスタートして居ます。この年を、当町内金の発足の年と位置付けております。

新川連合町内会常任委員として、新川中央町内会から「建設部長 遠藤恵治氏（故遠藤広氏の父）田尾梅一氏（分区長）」が就任しています。

また、新川連合町内会の事業目的の第一が「地域内の道路及び上下水道・河川の整備を図る」であり、又「蠅・蚊及び鼠の駆除に努める」等が有り、発展途上の様子が伺えます。生活の中心は現富田商店あたりで、バス停留所（72新川線）も近くにあり、新川ストア等、商店街が軒をならべて賑わっておりました。

この年、新川中央福祉会館3周年記念行事が行われる。

その時・当時の日本は、太平洋戦争敗戦後20余年を経て奇跡の経済成長を遂げ（GNP世界2位）、世の中は太平ムード「昭和元禄」が流行語となり、ミニスカートが流行する。

- ・一方、学生運動が広がり「東大安田講堂」占拠等が起きた。
- ・月世界へアポロ11号着陸、人類が月に降り立つ。
- ・流行歌「ブルーライト横浜」「恋の季節」「盛り場ブルース」がヒット。

昭和45年(1970)

新川中央町内会10分区を解散し、この分区制を生かした現在の単位町内会に編成替えになりました。当町内会は「第5分区」に「第4分区」の一部(現在の4条2丁目)を吸収合併して「新川第四町内会」として再出発しました。

初代会長は遠藤恵治氏(故遠藤広氏の父)です。

当時の新川地域の発展は目覚ましく、地域名も「札幌市琴似町新川番地」から「札幌市新川条丁目」に改称し、公共機関として、「新川郵便局」が開局しました。

札幌市の人口は百万人を突破。

その時・日本の農業も転換期を迎え、米の生産調整が始まる。急速な工業化の結果、農村の過疎化が進行したが、さらに拍車をかけることになった。

- ・大阪で人類の文化と産業の成果を競う「日本万国博覧会」を開催、テーマは「人類の進歩と調和」。
- ・東京光化学スモッグ公害が発生、鉛入れハイオクタンガソリンの禁止・排ガス規制される。
- ・流行歌「圭子の夢は夜ひらく」「走れコータロー」がヒット。

昭和46年(1971)

新生したばかりの町内会は、13班で運営。会員の名簿作成・案内板等を作ったりで、今日に通じる町内会の基盤作りは大変だったことでしょう。

オリンピックを翌年にひかえ、札幌も、随分、交通網が整備されました。

札幌市内に地下鉄南北線(北二十四条～真駒内間)が開通し、新川から都心への交通は、直通バスから地下鉄乗換えになり、一挙に時間短縮がはかられました。堂垣内知事、板垣市長の頃です。

その時・輸出にたよる経済成長は終りを迎え、戦後、一貫して採られてきた1ドル=360円の固定為替レートから変動相場制に移行した。

- ・使い捨て時代のツケはごみ公害となり、また瀬戸内海汚染は社会問題となる。国は、汚染・自然破壊防止のため環境庁を設置。
- ・流行歌「知床旅情」や「私の城下町」がヒット。

昭和47年(1972)

札幌市は政令指定都市になり、新川は「北区」に編入されました。北区の人口は136,350人でした。

「新川連合町内会」が発足。

「市立新川中央小学校」が開校。設立当初は15学級の513名、現在20学級（特殊学級2含む）の619名。これまで、小学校児童は遠い「琴似中央小学校」まで通学しており、暴風雨や吹雪の日には、とても心配したものです。

バス72新川線が新川団地まで延長され、水道工事が始まりました。（50年完成）

その時・田中角栄内閣が成立し、公共投資を柱とした「日本列島改造論」を政策とした。田中首相訪中、北京で日中国交正常化の共同声明を発表。

・第11回冬季オリンピック札幌大会を開催、笠谷選手のジャンプ優勝は日本中を沸かせた。

・横井庄一さんがグアムのジャングルから帰還し、忘れかけていた戦争を思い出させた。しかし、沖縄が復帰し、「戦後は終わった」と言われた。

・有吉佐和子「恍惚の人」がベストセラー

昭和48年（1973）

2代目会長 栗田誠秋氏就任 第四町内会の世帯数318戸。

婦人部「帯締め講習会」を開催。町内と婦人部共催レク「茨戸ハワイランド」で実施。

新川連絡所が設置され、住民票、戸籍謄抄本、印鑑証明の取次を行い、死亡、出生、婚姻届等の用紙交付を取り扱いました。公的機関が遠かった新川住民も大変便利さを感じたものです。

北消防署新川出張所が設置されました。

その時・田中内閣の積極経済政策によりインフレとなる。列島改造にのり土地ブームが起こり、一方、商社・大企業の買占め・売り惜しみが物価上昇に拍車をかける。さらに、第四次中東戦争でアラブ産油国がとった石油戦略は、オイルショックとなり、街からネオンは消え、マイカーの自粛が求められ、家庭用灯油が不足した。トイレットペーパー・砂糖不足のパニックでスーパーに行列が並ぶ。

・インフレの中での春闘は、勤労が順法闘争を展開、列車遅延に怒った乗客が騒動を起こす。

・流行歌「神田川」がヒットし、映画小松左京「日本沈没」がベストセラー。

昭和49年（1974）

3代目会長 澤田宅次氏就任。

札幌新道（国道5号線）開通。地下鉄南北線、北二十四条駅から麻生駅まで延長。

北海道に台風6号上陸、河川氾濫。

その時・石油の値段が4倍になるなど、前年を上回る狂乱物価となる。

・戦後、始めて、GNPがマイナス成長となり、高度経済成長は終りを迎える。

- ・この年の春闘で、最大の交通ゼネストを打ち、国鉄の列車は軒並みストップ。札沼線を走る列車にも沢山の張り紙を貼っていました。
- ・田中金脈問題が国会で取り上げられ、田中内閣退陣の発端となる。田中首相辞意表明、三木内閣成立。
- ・健康食品ブームにのり「やせる健康食」（中村鉦一）がベストセラーとなる。

昭和50年（1975）

第四町内会世帯数400戸（札幌市人口120万人突破）

町内会と婦人部共催レクで、「中の島ヘルスセンター」。

当時の会計決算書に「土木部 砂利運搬代」が57年まで、続いて計上されており、道路事情がしのばれます。衛生部では、空地の草刈りが欠かせない行事でした。

新川地区に下水道敷設工事開始。

ナナメ通り（通称）の商店街が活況となり、交通量も増えました。

その時・第二次大戦終了後、30年続いたインドシナ半島の戦乱は、南ベトナム政府軍が無条件降伏し、解放勢力のサイゴン入城によって終了した。

- ・企業倒産、失業者の増大、就職難など不況が深刻となる（この年は世界的不況）。
- ・初の海の博覧会「沖縄海洋博」が本土復帰を記念して開催。
- ・流行歌「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」がヒット。

昭和51年（1976）

交通安全部を新設、7部制となる。町内会レクは「プレイ盤溪」。

「市立新川中学校」開校。設立当初は12学級の488名、現在16学級の605名。

注：昭和62年（1987）1,200名を超えるマンモス学校となり、新川西中学校に分割。

昭和47年から施工されていた舗装道路（新川十字街～天狗橋）が完成した。この頃から新川地区内の道路が舗装された。

北二十四条駅発新川線（72番）手稲高校まで延長。

この年・札幌マラソン大会第1回が開催され、北大体育館前をスタート、新川河川堤防に、選手の力一杯走る風景が見られました。3回まで新川コースで、その後、参加者の増加で豊平コースに変わった。

その時・ロッキード事件で田中角栄前首相が逮捕される。

- ・西側に性能等が良く知られて居ないソ連最新鋭機ミグ25戦闘機が函館空港に強制着陸し、搭乗員はアメリカへ亡命した。
- ・モントリオール・オリンピック開催、アフリカ諸国は人種差別を理由に欠席した。
- ・日本で初の5つ子が誕生、そろって泣き出せば90ホン、茶の間の話題をさらった。

昭和52年(1977)～昭和53年(1978)

文教部・福祉部を新設。世帯数490戸。区域内広大の為、3ブロック制を布く。

北区衛生協力会連合会長賞受賞 町内会レク「白石の狸御殿」

下水道工事開始(昭和54年完成)。し尿汲み取りから解放され、環境衛生面で大きく改善され、近代都市の様相となりました。

北交通安全協会新川支部結成。

北区シンボルマーク決定。

注：ポプラ並木で象徴した樹木と若い街並みの広がりを、星は札幌市徽章の北斗星で、北区が札幌市の一部であることを意味し、図全体で北区の「北」の字を表します。また、緑は無限の可能性を秘めた発展性を意味し、赤は活動的な区民の連帯を示しています。

その時・ソ連200海里水域を北方領土にも適用することに決定、北洋漁業界は大打撃を受けた。

- ・巨人軍 王貞治ホームラン世界新記録756号達成(55年引退時868本)。
- ・北海道有珠山が夏の観光シーズンに大噴火、観光客等が避難。農漁業に300億円の被害をもたらした。
- ・長寿時代を迎え、日本人平均寿命男72.69才 女77.95才となる。
- ・サラ金の高利と厳しい取り立てが利用者を犯罪に駆り立て、社会問題となり、警視庁は悪質サラ金業者を取り調べる。
- ・流行歌「UFO」がヒット。カラオケが始まりブームとなる。

昭和54年(1979)

体育部新設。

文教部、青少年育成事業として、「子供会餅つき」を実施。

「北海道新川高等学校」開校。

この年、豊平川に鮭が25年振りに遡上し、汚染された川が蘇ったと言われました。

その時・東京サミットが開かれ日本が吹米諸国と対等の地位にあると言う認識は深まったが、

「日本人はウサギ小屋に毛が生えたような家に住む」とも言われた。

- ・国公立大学初の共通一次試験を実施、「共一時代の若者」の誕生となる。
- ・マイコンを使った「インベーター・ゲーム」が子供や若者達に爆発的な人気を呼び、口裂け女の流言が女の子に広がる。

昭和55年(1980)

第四町内会27班に発展。4ブロック制とする。

文教部「子供会キャンプ」を実施。

新川地区会館建設期成会発足。

注：新川中央福祉会館は昭和40年、町内会住民の協力（募金）があつて西創成小学校の廃材で建てられたものであった。（当時700万円以上）

その時・オリンピック・モスクワ大会開催、日・米・西独・中国などが不参加。

- ・自動車の生産台数、1000万台突破、世界一となる。日米の貿易摩擦激化。
- ・歌手山口百恵引退結婚。流行歌「ダンシング・オールナイト」「異邦人」「大都会」がヒット

昭和56年（1981）

策四町内会世帯数700戸を超える。47班とする。

新川連合町内会の世帯数は5500戸（人口18,000人）を突破し、機関紙「新川」創刊。トウカンマンション建設。

その時・中国残留孤児47人、厚生省の招待で初の正式来日

- ・北炭夕張炭鉱ガス突出事故が発生し、93人の犠牲者を出した。
- ・ロッキード公判で飛び出した「ハチのひと刺し」の一言や、定年退職者の「粗大ゴミ」が流行語となる。
- ・流行歌「ギンギラギンにさりげなく」「ルビーの指輪」「恋人よ」がヒット。

昭和57年（1982）

4代目会長 遠藤広氏就任。

世帯数増加に伴い、町内会運営をより円滑にするため、第四町内会を第四町内会と第八町内会に分割し、現在の町内会地域となりました。

新生第四町内会の世帯数は298戸で、第1回定期総会は「新川中央福祉会館（現新川地区会館の前身）」で実施。総務部では町内会名簿および第四町内会地図（会員所在地入り）を作成し、会員に配布。

町内会レクは、遠藤会長宅の空き地で、「ジンギスカンパーティ」を実施。鍋は第四町内会特製で、120名参加し盛会でした。この外、体育部では「ゲートボール大会」、文教部では「ハイジ牧場見学」を実施。婦人部では、「無水鍋によるパン作り」を行いました。

全町内会活動として、各班による「年末警戒巡回」や「雪割り運動」を展開。

「新川中央福祉会館建設期成会」臨時総会を開く。建設後の会館の管理運営及び建設費について、協議決定しました。

この年、札幌市では「北海道大博覧会」が開催され、地下鉄「東西線（新札幌駅～琴似駅）」開通。なお、札幌市の人口は150万人を突破。

その時・サッチャー英首相、ミッテラン仏大統領来日、好調な輸出をバネに安定成長を続ける日

本に経済と技術の協力が目的であった。

- ・土光臨調、行革基本方針を答申した。国鉄等の民営化、増税なき財政再建、赤字国債ゼロが骨子。
- ・流行歌「北酒場」「聖母たちのララバイ」がヒット。

昭和58年(1983)

札沼線西牧場踏切に信号機(遮断機なし)設置、新川地区の交通と札沼線の列車の増加に対処し、事故を未然に防ぐためです。

その時・NHKテレビ「おしん」を放映、おしんのけなげさ、辛抱強さに涙を流した。

- ・日本の産業は、造船量世界全体の5割、自動車の生産台数2割5分、テレビの生産台数2割を占めた。
- ・中学生の校内暴力がクローズアップされ、都市では、高校進学率が95%に達した。しごきの戸塚ヨットスクールの戸塚校長を逮捕。
- ・流行歌「さざんかの宿」「夢芝居」「矢切りの渡し」がヒット。

昭和59年(1984)

新川地区会館落成。第四町内でも多くの住民の協力(募金)がありました。また新川警察派出所が開所。

婦人部「ソーブバスケット講習会」実施。

札幌市では、「札幌国際見本市」を開催。

その時・貿易黒字が続き、東証ダウ史上初の1万円突破。

- ・日本初の实用放送衛星「ゆり2号」を打ち上げ、衛星テレビ時代に入る。
- ・ロスアンゼルス・オリンピック開催、税金を一切使わない初の民営五輪、ソ連始め東欧社会主義諸国が不参加、体操個人で具志堅選手、柔道無差別で山下選手が優勝。
- ・グリコ・森永事件発生。社長誘拐を始め、食品会社を脅迫し、毒入りチョコのばらまきなど卑劣な手口で世間を震撼させた。

昭和60年(1985)

5代目会長 三島憲氏就任。

婦人部レクとして「苔の洞門・レークサイドホテル」旅行を実施しました。

新川生協三条店が開店。

その時・電信電話およびタバコ事業が民営化される。

- ・金の売買で老人・主婦を騙した豊田商事永野会長が刺殺される。また約1万人から600億円を集め、株式売買の詐欺をはたらいた投資ジャーナルの中江元会長等逮捕。

- ・「いじめ」の問題が全国に広がり、深刻な社会問題となる。
- ・流行歌「恋に落ちて」「俺ら東京さ行くだ」がヒット。

昭和61年(1986)

婦人部レク「余市いちご狩り」「仁木平尾農園」で実施。

町内除雪期12月～3月まで、土木部出動17回、重機2台、助成トラック5台で排雪。

青少年育成委員、どんぐり子供会「白石キャンプ場」でキャンプ実施。

札沼線に「新川駅(無人)」設置。札沼線は昭和9年に開通。新川住民は利用できない汽車でしたが、50年ぶりに駅が出来、中心部まで12分足らず、遅れていた新川も都会並になりました。北二十四条に「サンブラザ」開設。

その時・東京サミット(2度目)を開催。日本は、貿易黒字幅・在外資産で世界一になり、経済大国化を印象付けた。

- ・フィリピンで、国民の民主化の熱望を担い、アキノ大統領が就任した。
- ・ソ連、チェルノブイリ原子力発電所事故発生31人死亡、放射能被害拡大。

昭和62年(1987)

6代目会長 山本定好氏就任。広報部新設。

婦人部レク「余市ブドウ狩り、北一ガラス、水明閣」実施。

総務部「新川の概要」を作成。

土生恵子さん、北海道毎日テニス選手権大会一般女子シングルスで優勝。

その時・国鉄分割民営化、114年5か月の歴史に幕。

- ・前年からの地価上昇が続き、首都周辺部では、1年間に3倍も値上がりした地区もあった。また、財テク・ブームが到来し、高級品志向が持て囃された。
- ・映画「マルサの女」がヒット。

昭和63年(1988)

第四町内全世帯数420戸。新川地区7,043戸(人口20,879人)

JR新川駅に駅舎新築し、自転車置き場が設置されました。

新川開基100年記念行事協賛会設立。記念誌「新川百年」の編集委員に任命された故遠藤広氏ほか2名が、琴似屯田兵の出身地宮城県亘理町を取材探訪。

『「屯田兵として渡道した人の跡地」は今は野菜畑となっていました。秋晴れの陽が鈴なりの柿に映えるその一隅に立つと、昔の人の苦しい胸のうかが伝わって来た。』と言う事です。

因みに新川は琴似屯田兵によって開拓が進められたが、琴似屯田兵208人の内亘理出身者は82人でした。

新川青少年消防クラブ結成される。またレジャースポーツ施設「ビッグシップ」開業。

地下鉄「東豊線（すすきの駅、栄町駅）」開通。

その時・牛肉、オレンジ日米交渉決着し、3年間で自由化へ。米国はさらなる自由化を迫った。

- ・景気の拡大が続き、経済白書は「内需拡大型の経済成長を実現」と発表。
- ・多くの議論を呼んだ消費税法案3%が成立（翌年4月1日施行）。
- ・粉塵が社会問題になり、スパイクタイヤの使用規制が始まる。
- ・青函トンネル開通し、瀬戸大橋が開通して日本4島が結ばれた。

平成元年（1989）

昭和天皇崩御（1月7日87才）、平成となる。

婦人部レク「ホテル展望閣、カマ栄蒲鉾等」実施。

大型マンション「パシフィック新川」建設開始。建設着手まで住民との話し合いが何度も行われました。

新川開基百年記念行事開催。

注：明治22年琴似屯田より、新川地区へ（当時の東牧場へ14戸、西牧場へ13戸）移動した。

その時から数えて100年。

新川緑化推進委員会発足。新川文化芸能フェスティバル開催。

その時・中国「天安門事件」が発生し、東欧の民主化が進みベルリンの壁が崩壊。

- ・第15回参議院議員選挙で、自民党は惨敗し、保守合同以来初の与野党逆転をもたらした。
- ・40年余にわたり、「歌謡界の女王」の位置を占めてきた美空ひばりが亡くなる。
- ・J R札幌駅高架下の商店街バセオがオープン。

平成2年（1990）

新川中央児童会館開館。児童の健全育成を図ると共に地域の住民にも解放した施設です。

山本定好氏 北海道公衆衛生大会で北海道衛生団体連合会より表彰されました。（町内環境美化に尽力したことによる。）

札幌市から5年間、「緑化推進地区」に指定され、西牧場公園で苗木無料配布。

婦人部レク「キリマンジャロ温泉」実施。

新川開基100年記念誌「新川百年」発行。

「北区歴史と文化の八十八選」が決まり、新川地区から5か所選定。（故佐藤寛記氏選定委員）

新川地区から選定された5か所

「力士若勇碑」……（北24条西19新川橋の畔）素人相撲力士（前谷省三）の功績を讃え大正

10年建立。